



かしこく  
やさしく  
すこやかに

# 学校だより



花 園 小  
R7, 1, 15  
文責 河野

## 3学期スタート！！

新しい年が始まりました。皆さん、どのような冬休みを過ごされたでしょうか。年末年始は天気もよく、朝早くから初日の出を見た子供たちもいたのではないのでしょうか。一方、インフルエンザが猛威をふるっている状況もあり、今後も最大限に感染予防に努め、この3学期を充実したものにしていかなければならないと気持ちを新たにしたところです。本年もどうぞよろしくお願いします。

さて、1月8日（水）から3学期が始まり、学校に子供たちの元気な声がかえってきました。この冬休みに家の手伝いを頑張った子供も多く、一回り大きく成長したように思えます。それぞれが、新年にふさわしい目標を立て、日々こつこつ頑張ってくれることを期待します。

そこで、始業式では、目標の実現に向かって努力を継続する大切さについて話しました。一瞬の脚光を浴びるまでには、陰での努力が必ずあります。「継続は力なり」という言葉があるように、続けることにより本物の力が身につきます。また、そのような中で少しずつ達成感を味わい、自己有用感も高まってきます。あきらめそうになった場合には、声をかけていただき、勇気づけてください。今後も、ご家庭のご協力、ご指導をよろしくお願いします。

## 本校の研究の紹介・・・

＜研究主題＞自ら問いを發し、他者と関わり合いながら主体的に学び続ける花っ子を目標として  
～児童の「なぜ?」「どうして?」を大切にしたい授業づくりを通して～

本校では、学校教育目標である「自他を大切に、主体的に学ぶ児童の育成」を目指し、昨年同様、育てたい資質・能力を右のように具体的に示し、各学年で取り組んでいるところです。校内研修では、上記した主題のもと、授業において「どのように学ぶか」という学びの質の深まりを大切に、課題解決に向けて主体的に考え、他者と関わり合いながら学びに向かう態度を育てるため、いろいろな面から取組を行っています。

子供が興味・関心をもち、自ら課題を見つけ、問いを立てながら見通しをもったり、推測したり、更には学びや体験から考えたことを基に、新たな課題を追究しようとする姿はとても大切です。そのためにも、「なぜ?」「どうして?」「やってみよう!」という思いを大切にしています。

|       |            | 低学年                     | 中学年                     | 高学年                             |
|-------|------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| かしこく  | 【問いを發する力】  | ○「なぜ?」「どうして?」をたいせつにしよう。 | ○「なぜ?」「どうして?」と問いながら学ぼう。 | ○「なぜ?」「どうして?」と問いながら、見通しをもって学ぼう。 |
| やさしく  | 【認め合う力】    | ○あいてをみて、はなそうきこう。        | ○自分とちがう考えや意見を受け入れよう。    | ○いろいろな考えを認め、自分の考えをさらに高めよう。      |
| すこやかに | 【命を大切にする力】 | ○そとでげんきにあそぼう。           | ○自分のけんこうに気をつけよう。        | ○安全に気をつけて進んで運動しよう。              |

## 認知症サポーター養成講座 がありました！

10日（金）、認知症サポーター養成講座が5年生を対象に行われました。高齢になると、誰でも認知症になる可能性があります。そのため、一人でも多く、認知症を正しく理解し、やさしい地域づくりに貢献することを目的として行われている講座です。また、この学習により、家族が認知症に対して適切に対処できるようになることや認知症サポーター同士のつながりを広げ、万が一のときに助けてもらえたり、相談を聞いてもらえたりできることが期待できます。「認知症とは何か」というテーマから始まり、認知症によって現れる症状などについて幅広く学習するとともに、予防方法、認知症の方との接し方や介護者の気持ちなどについても学びました。

この講座では、受講が修了した時点で認知症サポーターとなります。その証として、オレンジリングをそれぞれが受け取りました。

